

# 土木施設維持管理クラウド(市町村支援)

～ 財団法人・社団法人による地方自治体支援事業のご提案 ～

2012年に発生した笹子トンネル天井板落下事故以降、道路分野の構造物で定期点検が義務化される等、公共土木施設の維持管理に関する業務量が増大しています。一方、多くの管理対象施設があり、運用も長期間に亘るため、情報システムによる管理が必須と考えられます。

当社では、土木施設の管理者の方が、日常の維持管理業務を効率的に処理できるように、低コストで利用できるクラウドサービスや仕組みづくりをご提案します。

地方自治体の複数の構築経験を踏まえ、貴県の業務実態に沿ったサービスをご提供します。

## ■ 解決策 - 土木施設維持管理クラウド -

- ✓ **システム共同利用によるコスト削減**：複数の自治体で、データのセキュリティを確保した上で、システムを共同利用するため、安価でシステムを利用することが可能です。
- ✓ **利用環境**：Internet Explorerで動作するWebシステムのため、個別のパソコンへのインストール作業も不要です。利用者数の制限もありません。本庁と出先事務所でデータを共有することが可能です。
- ✓ **維持管理業務を効率化**：多くのシステム納入実績を踏まえ、様々な条件を組み合わせた施設の検索、点検データの一括更新、グラフや一覧表による施設の現状可視化、国土交通省点検記録表様式の管理等、様々な機能で維持管理業務の効率化を支援します。
- ✓ **カスタマイズ対応**：ご要望に応じ、カスタマイズが可能です。

## ■ システム構成の例（インターネット利用）



### 運用イメージ

- ✓ 建設技術センターは自治体支援事業の一環でシステムを運営し、自治体にサービスを提供します。
- ✓ 自治体は建設技術センターに公共土木施設維持管理に係るデータ管理業務を委託します。
- ✓ 地方自治体はインターネットを通じてシステムを利用します。
- ✓ 当社はシステム保守業者として、円滑なシステム運用を支援します。点検データは運用保守の一環で当社が一括登録します。

※システムを稼働するハードウェアは別途調達していただくか、当社が運営するクラウドをご利用いただけます。

## ■ 業務実績

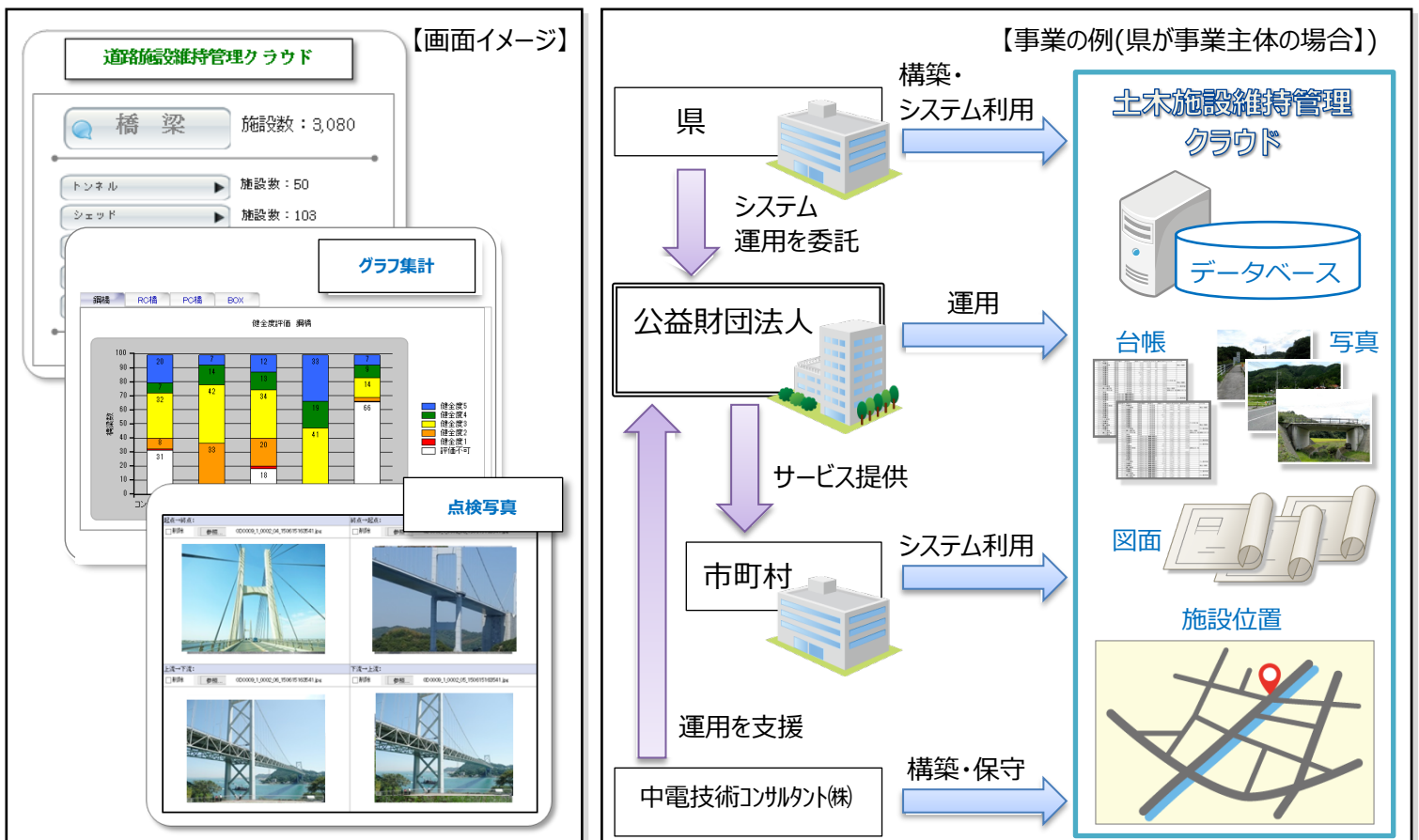
No.	対象構造物	運用開始年度	施設管理者
1	橋梁	平成 20 年度	広島県及び市町 <sup>※1</sup> , 岡山県及び市町村 <sup>※2</sup>
2	トンネル	平成 20 年度	広島県及び市町 <sup>※1</sup>
3	道路施設 <sup>※3</sup>	平成 27 年度	広島県及び市町 <sup>※1</sup>
4	舗装	令和 2 年度	広島県下の市町
5	港湾・海岸・漁港	平成 20 年度	広島県
6	防潮扉	平成 20 年度	広島県
7	堰堤工	平成 20 年度	広島県
8	ダム	平成 19 年度	広島県

※1：広島県版と市町版は別々のシステムで運用中

広島県版は広島県道路整備課，市町版は広島県土木協会でシステム開発・運用を実施

※2：システム開発は岡山県道路建設課，運用は岡山県建設技術センターで実施(県からセンターへの運用委託)

※3：シェッド，大型ボックスカルバート，門型標識，横断歩道橋が対象 (点検義務化への対応)



## ■ お問い合わせは・・・

**CEC 中電技術コンサルタント株式会社 情報事業部**

〒734-8510

広島市南区出汐二丁目 3-30

TEL: (082) 256-3346

e-Mail: knagata@cecnet.co.jp

(技術担当) 地圏・情報本部 情報事業部 社会システムグループ 永田

